

■9月9日（金）午前

会場	講堂
	S3. 関東盆地の地質・地殻構造とその形成史
	座長：小田原 啓 (1-4), 水野清秀 (5-8), 佐藤比呂志 (9-12)
9:00	<p>9:00 S3-O-1 (招待) MeSO-netによる首都圏の地震活動とプレート構造. 平田 直・酒井慎一・中川茂樹・加藤愛太郎・蔵下英司・楠城一嘉・バナヨトブロス・ヤニス・小原一成・笠原敬司・明田川保・木村尚紀</p> <p>9:15 S3-O-2 関東地域の地下構造調査：堆積盆地からプレートまで. 佐藤比呂志・笠原敬司・平田 直・岩崎貴哉・加藤直子・蔵下英司・石山達也・中山俊雄・伊藤谷生・浅尾一己・木村尚紀・阿部 進・川崎慎治・斉藤秀雄・溝畑茂治・川中 卓・太田陽一・須田茂幸・大西正純・井川 猛</p> <p>9:30 S3-O-3 (招待) 海域反射法地震探査断面による深部構造と房総沖地震活動との比較. 三浦誠一・山下幹也・藤江 剛・野 徹雄・高橋成実・小平秀一・小林励司</p> <p>9:45 S3-O-4 (招待) 房総半島中央部での反射法地震探査と地表地質. 浅尾一己・伊藤谷生</p> <p>10:00 S3-O-5 (招待) 房総半島テクトニクス解明の新たな展望. 伊藤谷生・浅尾一己・佐藤比呂志</p> <p>10:15 S3-O-6 伊豆衝突帯, 足柄地域の地質構造. 小田原 啓・林 広樹</p> <p>10:30 S3-O-7 (招待) 地表・地下に分布する第四紀テフラの対比と関東平野西南部の発達史. 鈴木毅彦</p> <p>10:45 S3-O-8 (招待) 関東平野中央部の第四系の地質構造と地層形成. 木村克己・水野清秀・山口和雄・松島紘子・小松原純子</p> <p>11:00 S3-O-9 (招待) 屈折・反射法弾性波探査による東京都の地下構造. 中山俊雄</p> <p>11:15 S3-O-10 (招待) 南関東の伏在逆断層と第四紀テクトニクス. 石山達也・佐藤比呂志・中山俊雄・加藤直子・阿部 進</p> <p>11:30 S3-O-11 (招待) 関東地域における巨大地震・津波の履歴. 宍倉正展</p> <p>11:45 S3-O-12 (招待) 日本列島域におけるプレート間相互作用による関東地方の長期地殻変動のシミュレーション. 橋間昭徳・佐藤利典・伊藤谷生・宮内崇裕</p>

人文10
T7: Rocks and mineral resources of Mongolia and Northeast Asia (Joint session with SRG and Mongolian SEG)
Chairpersons: Yasuhito Osanai (01-04), Yasushi WATANABE (05-06), M. Satish-Kumar (07-09)
<p>9:00 T7-01 Multi-event metamorphism of eclogite and associated metamorphic rocks in the Lake Zone, southwest Mongolia. Javkhlán Otgonkhuu・Akira Takasu・Bat-Ulzii Dash</p> <p>9:15 T7-02 Paleozoic subduction and collision magmatism in west Mongolia: Evidence from geochronology and geochemistry of the intrusive rocks. Masaaki Owada・Yasuhito Osanai・Nobuhiko Nakano・Tatsuro Adachi・Kazuhiro Yonemura・Aya Yoshimoto・S. Jargalan・C. Boldbaatar・M. Satish-Kumar</p> <p>9:30 T7-03 Jurassic accretionary terranes distributed along the eastern margin of the Asian Continent and their tectonic implications. Weimin Li・Akira Takasu・Yongjiang Liu・Yingli Zhao・Guoqing Han</p> <p>9:45 T7-04 Metamorphic history of the eclogites in the Besshi district, Sambagawa metamorphic belt, central Shikoku, Japan. Md Fazle Kabir・Akira Takasu・Tuyoshi Sakurai・Yasua Okamoto・Nana Hirashita・Minako Suto</p> <p>10:00 T7-05 (Invited) Mineral resources of Mongolia. D. Bat-Erdene</p> <p>10:15 T7-06 (Invited) Geology, genesis of gold mineralization in Mongolia. S. Jargalan</p> <p>10:30 T7-07 Vein type gold deposit at the Tsagaan Tsahir Uul in the Bayankhongor belt, Mongolia: Features of mineralization and oxygen isotope. Davaa-Ochir Dashbaatar・Ken-ichiro Hayashi</p> <p>10:45 T7-08 Mineralization Sequence of Gatsuurt Gold deposit in North Khentei gold belt, Central Northern Mongolia. Chinbat Khishgee・Masahide Akasaka・Jargalan Sereenen</p> <p>11:00 T7-09 Rare earth mineralization in Mongolia. Yasushi WATANABE</p>

人文11
R1: 鉱物記載・分析評価
座長：宮脇律郎 (01-04), 下林典正 (05-08), 宮島 宏 (09-12)
<p>9:00 R1-01 鳥根県邑南町大林鉱山の含銀鉱物. 赤坂正秀・高橋 桜</p> <p>9:15 R1-02 和歌山県串本町田子海岸に産するsideronatrite. 石橋 隆・下林典正</p> <p>9:30 R1-03 シベリア石の合成. 狩野正裕・逸見千代子</p> <p>9:45 R1-04 広島県東城町久代産汚染岩中のネフェリンの沸石化. 矢野裕美・木股三善・越後拓也・星野美保子・草地 功・昆 明慶・清水雅浩・西田憲正</p> <p>10:00 R1-05 群馬県沼田市産melanotekiteとwillemite. 山田 隆・塩原嘉昭・平間敏之</p> <p>10:15 R1-06 千葉県木更津市産メラノフロジャイト. 門馬綱一・宮脇律郎・松原 聰・横山一己・重岡昌子・高橋直樹・鴻田昌彦</p> <p>10:30 R1-07 石英結晶からメノウへの結晶粒の細粒化のTEM観察. 長瀬敏郎・栗林貴弘</p> <p>10:45 R1-08 新鉱物・Ehimeite NaCa₂Mg₄CrSi₆Al₂O₂₂(OH)₂. 浜根大輔・大西政之・皆川鉄雄・山浦淳一・斉藤昇平・門田 亮</p> <p>11:00 R1-09 南極から新鉱物「マグネシオヘグボマイト2N 4S」の発見：特にヘグボマイト類の構造式について. 志村俊昭・赤井純治・Lazic Biljana・Armbruster Thomas・清水正明・亀井淳志・東田和弘・大和田正明・柚原雅樹</p> <p>11:15 R1-10 三重県菟野町産花崗岩ベグマタイト中のローランド石 (rowlandite-(Y)) Mg置換体. 松原 聰・宮脇律郎・横山一己・重岡昌子・山本貞興</p> <p>11:30 R1-11 カナダBenjamin Riverアパタイト-普通輝石-磁鉄鉱鉱床における希土類元素鉱物の形成過程. 星野美保子・渡辺 寧・実松健造・昆 慶明</p> <p>11:45 R1-12 TESマイクロカオリメータEDS-SEMによる希土類元素分析. 上原誠一郎・高井康宏・白勢洋平</p>

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション. S1～S3, R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです. 講演番号は双方の学会の付け方に準じています.
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.

■9月9日（金）午前

会場	人文13	人文14	人文15
	T1：岩石－水相互作用（共催：資源地質学会）	T8：モホ点描－超深部掘削計画で何がみえてくるのか？	T3：東日本における活火山の長期活動評価と防災対策
	座長：藤本光一郎（01-03），土屋範芳（04-07），奥山康子（08-10）	座長：道林克禎（01-04），阿部なつ江（05-08），道林克禎（09-12）	座長：長谷川 健・大場 司（01-10）
9：00	9：00 T1-01 オーストラリアクーパーペーズンにおける地熱流体。柳澤教雄・Ngothai Yung・Wyborn Doone	9：00 T8-01 海洋地殻掘削進捗状況－モホール計画現状について－。阿部なつ江・Ildefonse Benoit・Teagle Damon・Scientific Party IODP Exp. 335	9：00 T3-01 浅間・烏帽子火山群，最初期～前期の火山活動史。西来邦章・高橋 康・松本哲一
	9：15 T1-02 深部塩水帯水層へのCO ₂ 地中貯留でのドーソン石出現条件－地化学シミュレーション結果の再検討－。奥山康子・戸高法文	9：15 T8-02 モホール超深部掘削における孔内物性計測（ロギング）の重要性和手法改善－開発の必要性について。富永雅子・阿部なつ江	9：15 T3-02 テフラを基にした統計的火山活動評価：男体火山の活動史。及川輝樹・竹下欣宏
	9：30 T1-03 水熱環境下における方解石析出の実験的検討。武者倫正・土屋範芳・岡本 敦	9：30 T8-03 微生物分子温度計：地下圏の温度プロファイリング。木村浩之・道林克禎	9：30 T3-03 カルデラ火山における噴火後の決壊洪水とラハール災害。片岡香子
	9：45 T1-04 エジプトのレアアース鉱床の産状と資源ポテンシャル。渡邊公一郎・米津幸太郎・新川達也・中野伸彦・小山内康人	9：45 T8-04 表層環境地球化学者からみた超深部掘削計画。高橋嘉夫	9：45 T3-04 東北日本，蔵王火山，熊野岳アグルチネート活動時のマグマ供給系の進化。武部義宜・伴 雅雄
	10：00 T1-05 砂岩の透水特性と鉱物－水反応面積：水飽和率の影響。西山直毅・横山 正	10：00 T8-05 モホの岩石学的イメージング：海洋底そして日本列島。荒井章司	10：00 T3-05 栗駒火山南麓に分布する中期更新世火砕堆積物の層序。葛巻貴大・大場 司
	10：15 T1-06 熱水性シリカ鉱物の形成条件とモルフォロジー。磯部博志	10：15 T8-06 M 9 巨大地震とオフィオライト・高圧変成帯の衝上。石渡 明	10：15 T3-06 最近3,000年における鳥海火山の爆発的噴火活動および熱水系の発達。大場 司・林 信太郎・近藤 梓・鈴木真悟・葛巻貴大・古木久美子・伴 雅雄
	10：30 T1-07 Al濃度に依存するシリカ鉱物析出速度式の提案と鉱物脈形成に関する考察。最首花恵・岡本 敦・土屋範芳	10：30 T8-07（招待） 地震学的に見た海洋地殻，マントル，モホ。小平秀一・藤江剛・山下幹也	10：30 T3-07 岩手火山における約10万年間のマグマ噴出率。伊藤順一・住田達哉
	10：45 T1-08 三波川帯高変成度泥質岩に認められた複数段階の流体活動。吉田健太・平島崇男	10：45 T8-08 海洋モホ面でのレオロジーの不連続性。片山郁夫・東 真太郎・武藤 潤	10：45 T3-08 カルデラ形成に関与した珪長質マグマの温度条件の違い。近藤梓・山元正継・緒方武幸・柴田悟史・葛巻貴大
	11：00 T1-09 ベグマタイト岩脈の貫入による加水作用－東南極，セールロンダーネ山地での例－。土屋範芳・石川正弘・Kumar Satish・河上哲生・Grantham Geoff・目黒雄一・岡本 敦	11：00 T8-09 オマーンオフィオライト北部にみられる下部地殻マントル断面の地質と地震波速度と地震波反射。石川正弘・柴田 聡・秋月龍之介・金子健太・市来孝志・齊藤 哲	11：00 T3-09 北海道駒ヶ岳火山の噴火層序の再検討：新しい噴火堆積物の発見とその意義，その2。吉本充宏・今 浩哉
	11：15 T1-10 マントルウェッジにおけるかんらん岩の加水反応速度に関する実験的研究。中谷貴之・中村美千彦	11：15 T8-10 放射光X線と組み合わせた高圧下弾性波速度測定。河野義生・Park Changyong・Shen Guoyin・坂巻竜也・Yu Tony・Wang Yanbin	11：15 T3-10 北海道東部カルデラ火山群の大規模火砕噴火史。長谷川 健・岸本博志・中川光弘
		11：30 T8-11（招待） ペネトレータによる海洋底の探査。藤村彰夫・田中 智・白石浩明・小林直樹・早川 基	
		11：45 T8-12（招待） 高速拡大中央海嶺下の電気伝導度構造。馬場聖至・Chave Alan・Evans Rob・Tarits Pascal・Hirth Greg・Mackie Randall	

※R1～R5，T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。S1～S3，R6～R25，T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合，講演要旨を正しいものとします。

■9月9日（金）午前

会場	共通1大	
	T15. 地球表層環境解読と生命進化	
	座長：佐藤友彦（1-4）、斎藤誠史（5-8）、山田健太郎（9-12）	
9:00	9:00	T15-O-1 冥王代研究. 小宮 剛・下條将徳
	9:15	T15-O-2 白馬八方地域の蛇紋岩熱水系と原始生命. 須田 好・丸山茂徳・上野雄一郎・大森聡一・吉崎もと子・黒川 顕・西山依里・吉野弘二
	9:30	T15-O-3 カーブバールクラトン, バーバートングリーンストーンベルトの35から32億年前の堆積岩に含まれるパイライトの局所鉄同位体分析. 吉屋一美・澤木佑介・渋谷岳造・山本伸次・小宮 剛・丸山茂徳・平田岳史
	9:45	T15-O-4 22億年前の海水塩化物イオン濃度と表層環境の進化. 齋藤拓也・渋谷岳造・小宮 剛・上野雄一郎・丸山茂徳・黒澤正紀
	10:00	T15-O-5 海生生物の進化を促した湧昇環境変動. 須藤 斎・河邑圭太・萩本伸太・寺石瑛人・田中裕一郎
	10:15	T15-O-6 溶存鉄に富んだエディアカラ紀海洋. 澤木佑介・田畑美幸・西澤学・小宮 剛・丸山茂徳・平田岳史
	10:30	T15-O-7 エディアカラ紀から前期カンブリア紀における有機窒素・有機炭素同位体比変動. 菊本亮平・西澤 学・田畑美幸・澤木佑介・高井研・丸山茂徳・上野雄一郎・小宮 剛
	10:45	T15-O-8 南中国・三峡地域の初期カンブリア紀堆積層から得られた脂肪族炭化水素の炭素同位体比. 山田健太郎・上野雄一郎・山田桂大・小宮剛・吉田尚弘・丸山茂徳
	11:00	T15-O-9 南中国雲南省洪家冲セクションにおける下部カンブリア系層序. 佐藤友彦・磯崎行雄・小宮 剛・田畑美幸・吉田尚弘・舒 徳干
	11:15	T15-O-10 南中国四川省峨辺地域におけるペルム紀中-後期境界層の詳細層序. 斎藤誠史・磯崎行雄・姚 建新・紀 戦勝
	11:30	T15-O-11 南中国・四川省北部におけるペルム紀中-後期境界の層序. 蓋盛拓海・磯崎行雄・姚 建新
	11:45	T15-O-12 超海洋中央部における G-L (ペルム紀中期-後期) 境界前後のストロンチウム・炭素同位体層序: 赤坂石灰岩の例. 小福田大輔・磯崎行雄・可児智美

共通3大	
R11. 地域間層序対比と年代層序スケール	
座長：菅沼悠介（1-4）	
9:00	R11-O-1 魚沼層群SK030に含まれる特異な鉱物（ジルコン, セノタイム, モナズ石, コランダム）の特性と対比への応用. 村松敏雄・赤井純治
9:15	R11-O-2 下北半島東部, 砂子又層に挟在するガラス質火山灰の広域対比の可能性について. 田村糸子・山崎晴雄・小林 淳・須藤浩一・岡島靖司・水上啓治
9:30	R11-O-3 南フランスと北海道に露出する上部アルビアン-下部セノマニアン統合層序と地質年代. 高嶋礼詩・西 弘嗣・山中寿朗・Quidelleur Xavier・Paquette J. L.・Fiet Nicolas
9:45	R11-O-4 白亜紀中期Oceanic Anoxic Event (OAE) 2におけるテーチス海と太平洋の古環境. 西 弘嗣・高嶋礼詩・山中寿郎・林 圭一・望月 直・小安浩理
T14. グリーンタフ・ルネサンス	
座長：松原典孝（1-4）、細井 淳（5-8）	
10:00	T14-O-1 グリーン・タフ層序の再検討. 鹿野和彦
10:15	T14-O-2 奥羽山脈などの発達史から見た東北日本のポストグリーンタフ変動. 中嶋 健
10:30	T14-O-3 岩手県西和賀町周辺奥羽脊梁山脈におけるグリーンタフの火山活動様式. 細井 淳・天野一男
10:45	T14-O-4 宮城県北部・岩手県南部の中期中新世の石越安山岩: “洪水安山岩”との比較. 佐藤 景・石渡 明
11:00	T14-O-5 仙台市西部に産するFeO*に富む後期中新世玄武岩質安山岩マグマの成因. 寺本拓摩・石渡 明
11:15	T14-O-6 北陸~東北の中新世火山岩のマグマ成因. 石渡 明
11:30	T14-O-7 岩相解析に基づいた堆積環境の復元~山陰海岸ジオパークにおけるグリーンタフジオロジーの再検討~. 松原典孝・三木武行・先山徹
11:45	T14-O-8 グリーンタフ時代の太平洋側火山活動とブチスポット. 平野直人

■MEMO■

※R1~R5, T1~T8は日本鉱物科学会扱いのセッション. S1~S3, R6~R25, T9~T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです. 講演番号は双方の学会の付け方に準じています. ※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.